

第567回 薬学研究科セミナー

生体分子を識るための 化学技術



講師： 岡本 晃充博士

**【東京大学 先端科学技術研究センター
大学院工学系研究科 教授】**

**日時： 2020年1月31日（金）
17:00~18:30**

場所： 薬学部大講義室

核酸・タンパク質・脂質などの生体分子の機能を理解してそれらを活用するためには、まずそれらの模倣分子を合成して丁寧に調べる必要があるだろう。近年では、サイズが大きい生体分子を化学合成したり、特定の相互作用生体分子を捕捉したり、一細胞解析可能なプラットフォームを提供したりするなど、人工生体分子が形づくる分子複合系による多面的な生体分子機能解析が可能になってきた。これらは新たな薬剤の探索を加速する化学技術になる。本セミナーでは、岡本研究室で開発したいくつかの人工生体分子の反応・合成・観察について紹介したい。

連絡先：稲田利文(遺伝子薬学分野)

TEL:022-795-6874 E-mail:toshifumi.inada.a3@tohoku.ac.jp